

1 自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070201039		
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイ松本西グループホーム		
所在地	長野県松本市笹賀5514-6		
自己評価作成日	平成29年10月16日	評価結果市町村受理日	平成30年4月24日

※事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.nsvakvo.or.jp/modules/general/general_divindex.php?iigvo=2070201039
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社マスネットワーク		
所在地	長野県松本市巾上9-9		
訪問調査日	平成29年12月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着:開かれた施設、笑顔のお客様をグランドイメージとし様々な活動をしております。お客様一人ひとりが町会の一員として地域の催し参加ができ、逆に地域の方をホームに招いて催しを開いたり、近くの小学校の子供たちとの交流したり人との交流を大切にしております。また、今年10月より当事務所にて介護困りごと相談を実施し、少しでも介護のお悩みを解消できればと思っております。私たちは一人ひとりのできることを最大限に活かし、支えあい、地域で共に暮らす協働者であり続けます。というツクイ松本西グループホームの理念に基づいたケアができるように努め、入居者様とそのご家族が安心して生活出来るよう支援させていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

13年目に入るこの施設は、地域の中に根差すと共に常に新しいことに挑戦し、取り組んでいる。2ヶ月に1回のお茶のみ会に地域の方々や参加したり、出来るだけ外出の機会を作るよう冬でも外出したり、利用者に対しての楽しみを提供している。今年から介護保険全般の困りごと相談窓口を開き、地域の方の頼れる事業所として活躍したり、看取りについての体制も整い、現状に留まることなく、利用者の笑顔のために日々利用者本位のケアに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(りんどう)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目: 23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目: 9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目: 18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目: 2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目: 36, 37)	66	職員は、生き活きと働けている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目: 30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目: 28)		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(しらかば)

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている。 (11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	外事務所に理念を掲げ、管理者、職員共有し実践につなげている。	玄関や事務所等目のふれるところに理念が掲げられ、朝のミーティングに唱和したり、職員会の時など改めて、管理者より伝え、共有し、職員全員のケアの根幹になっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加したり、ホーム行事に来て頂いている。散歩、毎週のくりーん活動の際には挨拶や世間話など日常的な交流がある。ふれあい通信の回覧。	二子地区の行事に参加したり、(お茶会、バーベキュー大会等)松本地区のツクイ全体の事業所主体の音楽会、運動会、作品展等に家族や地区の方々が、参加している。また、毎月の「ふれあい通信」の回覧を行うなど、地域に開かれた施設になっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ふれあい通信の回覧にて毎月どのような活動を行っているか知ってもらっている。運営推進会議、行事参加の際実際の様子を見ていただき認知症の理解、支援に繋げている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	約2ヶ月に1回運営推進会議を開き状況報告、話し合いを行っている。要望、意見はサービスの向上に活かすよう努めている。	定期的に開催され、区長 民生委員 包括支援センター等の参加のほか消防署の方にも参加いただき、報告はもちろん、救急法のやりかたや、消防訓練の参加もお願いしている。	現在参加しているメンバーの他、警察署 小学校の先生、等幅広い方の参加を期待したい。また、話し合われた内容をファイルにし、玄関に他の報告書等と一緒に置き、誰もが見ることのできる工夫を期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	行政と連絡を取り、協力関係を築けるよう取り組んでいる。	包括支援センターの方が講師になり、職員全員と家族の参加の中、オレンジリングの講習を受ける機会をもうけた。また、市職員への報告相談だけでなく実際に事業所に来て頂くよう依頼していく方向も模索している。 今年から始めた困りごと相談会を開催するに当たりアドバイス等も頂き、常に協力関係ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ご家族様にも説明した上で、安全の為、玄関の施錠をさせて頂き、職員間でも日々のケアが拘束にならないよう気をつけながら業務にあたっている。	事業所の前が、幹線道路ということで、安全のため玄関の施錠は行っているが、閉そく感はなく、利用者の意向で安全に外に出られるよう玄関を施錠することにより、一歩足を止めてもらい職員が付き添い外に出る仕組みになっている。拘束については、内部外部の研修を受け、職員全体で拘束による利用者の不利益を理解し、ケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会、ミーティングなどで学び、日々のケアが虐待につながっていないか職員間で意識し、お互いに情報交換することで防いでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用されているご利用者様がいますので、実践を通じて制度を知る機会にはなっている。他者の必要時にも活用できるよう支援していく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者、計画作成担当者を通じて、ご家族様の不安、疑問点を尋ね、十分に納得して頂いた上で対応している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置している。また、訪問時、連絡時には、こまめにやり取りをし意見要望等を聞き易い関係作りに努めている。	担当が月1回利用者家族に利用者の様子を手紙で知らせ、返信用封筒を同封し、意向等書けるよう工夫したり、面会時に話しやすい雰囲気作(新年会夏祭り等一緒に楽しめる場)を心がけたり、電話で確認する等行われている。	意見箱が玄関に設置されているが、誰もが書きやすいアンケート様式等工夫し、今後一層意見を頂きやすくし、運営に反映できることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティング、朝礼時等で管理者に伝え可能な限り反映してもらっている。	月1回の職員会や、朝のミーティング等で、意見や提案を受け、日々の業務改善を迅速に行っている。管理者も職員が意見を言いやすい雰囲気を醸し出している。また、エリア統括職員も定期的に職員と話す機会をもうけ、意見要望を吸い上げ運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	本社にて職場環境、条件の整備が図られている。業務の見直しを常に行い、働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内外で定期的に研修が行われている。研修希望者には、参加できるよう勤務調整している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研修会、会議、訪問見学で他事業所との交流はあるが、職員同士の交流はほとんどない。管理者が多い。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様の不安、要望を聞きながら、どのようにしたら安心して生活できるかを考えている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様の不安、要望を聞きながら安心して生活できるかを説明し、プラン内容に反映したりし、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	困っている事等を一通り伺った上で、現段階優先すべきことを考え対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	介護するという意識はあまりもたずに、協働者という考えで、お互いの足りない面を補いながら関係、雰囲気作りしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様の思いに寄り添いながら、ご家族様、ご本人様の関係性を大切に支援している。ご家族様と同じ思いを共有できるよう月1回の手紙で様子を伝えたり訪問時、連絡にてこまめにやり取りしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域のお茶会の参加。 希望があればなじみの美容院、かかりつけ医、電話連絡できるよう支援している。面会にも来て頂いてる。	馴染みの関係として、親戚、友人の来所があったり、外出時、家族の協力を得て家に帰ったり馴染みの美容院に行ったりしている。また、10分程度の場所に日用品の買い物に行ったり、新たな馴染みの関係も構築されている。年賀状を一緒に書くこともしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共有のホールで過ごさせることでご利用者様同士の関わり合いがある。 関係性を職員が把握し、介入しながら良い関係を築けるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も面会に行かせて頂き、必要、希望があれば相談、支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で言動、表情から気持ちを汲み取り、これまでの生活歴から考え、また、相手の立場になって検討している。	日々のバイタルチェックで様子を確認し、行動や表情から、また、家族 ケアマネ 友人の情報で生活歴を聞き、利用者の意向を探りケアのヒントにしている。入浴時やソファでゆっくりしている時など利用者の意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にご本人様、ご家族様から生活歴等を伺い記録、申し送りし全職員が把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの様子観察に努め、記録に残し、また、申し送りし現状把握できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人様ご家族様の意見要望を取り入れ、カンファにて職員、管理者で課題、ケア等について話し合いプランに反映している。	電話や、直接話をして家族の意向を確認し、日々の実施記録を基に短期目標に合わせ概ね3カ月毎に職員全員で評価し、ケアプランに反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきは記録に残し職員間で共有し、実施、プランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービスや対応以外にも、職員の知識、アイデアを出し合って柔軟な対応ができるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	周辺施設、民生委員、警察、消防署等と連携を図っている。地域の方にボランティアに来ていただくこともある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人様、ご家族様の要望を伺い、決めている。 ホームのかかりつけ医には、状態等丁寧に報告している。	かかりつけ医は入所時家族に確認し、意向に合わせている。協力医は月1回往診があり、緊急時等にも対応している。状態報告は家人が対応するかかりつけ医については口頭で報告し合っている。往診についての内容は、緊急時以外は、電話や手紙で行っている。訪問看護も週1回来所し、往診時にも対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問時、24時間体制なので連絡を取り、適切な指示を受けている。看護師とのノートもあり、情報交換もしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換、相談を出来る限りこまめに行い、安心して治療、早期退院できるよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時、重度化等になった際の、説明をさせていただき、話し合い、また、理解して頂いている。	29年度より、看取りの体制ができ、改めて家人に「看取りの指針」等で意向を確認している。現在まで看取りの実践例はないが、訪問看護と看取りの研修を行ったり、ツクイ全体の研修でスキルを上げ万全の体制が準備されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防による講習や研修にて訓練している。緊急連絡網作成し事務所に提示している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回避難訓練行っている。地域の方々にも参加して頂いている。	年2回地域の方の協力と、消防署の方の指導を受けながら、消火・誘導・緊急通報等の実際を行い、内1回は夜間想定でも行っている。また、日用品(水食料 毛布等)の備蓄もある。災害時、地区の避難所とし当事業所が使用できることも伝えていきたいとの話もあった。	毎月11日にミニ訓練が行われているとのことで夜間体制で職員が災害時不安なく行動できるよう継続していくことを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりを尊重しその方に適した言葉がけや、対応に努め、会議等でも見直している。	同姓ということの下の名前で呼ぶこともあるが、常に敬意をもって声かけし、利用者に尊敬の念が伝わるよう心がけている。入浴、排泄等プライバシーに関わる時は特に慎重に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	無理強いせず、自己決定できる場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペース、希望を大切に、出来る限り個別性のある支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	意思表示出来る方には選んで頂いてる。また、これまでの習慣、こだわりなどから、その方らしい身だしなみに配慮している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様と行っている。 季節の食材、献立、ご利用者様の好みを取り入れ、形態にも工夫し職員と共に食事時間を楽しんでいる。	毎朝朝食に野菜入りスムージーを提供している。主菜は外注であるが、利用者も一緒に食事作りに参加できる工夫がされている。(米とき野菜の下ごしらえ 食器拭き テーブル拭き等)利用者の希望は行事食(お寿司 おはぎ そば打ち 流しそうめん他)等で取り入れている。味噌汁の具は移動販売車や近くのスーパーに買い出しに利用者で行っている。また、状態に合わせムース食にも対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事、水分量を日々確認している。 少ない方は、申し送りし、適切に摂取できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人ひとりに合わせたケアを毎食後行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	排泄パターンを把握しさりげない誘導、確認し状態に合わせた支援をしている。	日中はさりげない声かけ誘導と先回りのケア(しぐさタイミングでトイレ誘導)で対応し、夜間は、利用者の状態と安全を考慮し、ポータブルトイレの使用もある。日々のケアの中で排泄パターンを見極めトイレでの排泄が難しかった利用者がトイレで行えるようになったケースも話の中で確認できた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分、食材、乳製品、体操等を取り入れ予防しているが、下剤も使用している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。	出来る範囲で、好まれる時間帯で入浴の誘いをしている。断れた際は、タイミングをみて誘っている。	週3回午前中の中入浴を基本としているが、夕方入浴の方もおり、いつでも対応できる体制になっている。入浴を嫌がる利用者にも声かけの工夫他(音楽を聞いてもらったり、時間日にちをずらす 季節風呂 ゆず湯 菖蒲湯等)を行って気持ちよく入っていただくよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	習慣、希望、体調等に合わせ休息を促している。夜間には特に、音、光、室温に注意し、眠れない方にはマッサージ、暖かい飲み物等を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	説明書を読んだり医師、薬剤師、看護師からの説明で把握している。薬変更時は、申し送りを徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事をお願いすることで経験、知識を発揮する場面を作っている。嗜好品も希望に合わせて提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日に沿っては難しい面があるが、庭に出たり散歩、畑、ドライブにと外出はしている。季節にあった外出行事も多く取り入れている。	日常的に近所を散歩したり、買い物に出かけたりと外出の機会を多くしている。また、レク担当が外出の企画をし(諏訪の足湯 1日かけての花見 信州スカイパーク等)施設内だけの生活にならないようにとの思いで行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を所持されている方はいないが、買い物時希望があれば所持できるよう支援していく。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	各ユニットに電話設置してあり、自由にかけただけのようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花を飾ったり、手作りの装飾品で季節感を出している。 常に不快がないか注意している。調理の音、 においては生活感に繋がっている。	フローアールから居室全体が見渡せ、中央にはキッチンがあり、匂い音も自然に入ってくる。照明もすべてLEDに替え明るく、また、季節の花も飾られ、皆で作った大きなクリスマスツリーもあり、季節感があつた。玄関も利用者が毎日掃除しているとのことできれい清潔感があつた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールでご利用者様それぞれの位置がおおよそ決まっており、そこが、安心する場所となっている。居室でも自由に行き来して過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様を使い慣れた家具、小物、写真等を配置している。居室内は、自由に使って頂いて構わないと伝えてある。	本人 家人が中心となり、過ごしやすい部屋作りがされており、収納スペースも確保され、広くすっきりしていた。壁には家族の写真や、利用者の作品 思い出の品等が飾られていた。利用者の意向でベッドではなく、布団の方もいた。また、窓からの眺めもよく開放感があつた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご利用者様の動線上には障害になるものは置かないようにしている。 居室内では、危険が考えられる場合は、ご家族様とも相談し配置を考えている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	玄関に意見箱を設置しているが活用が少ない	設置場所を考え投函しやすい環境を作る。	誰もが書きやすいアンケート用紙に変更し書きやすい場所に設置する。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	定期的に非難訓練を行っているが夜間の訓練に不安がある	夜間想定 of 訓練を実線に役立つ様行う	実際夜間に災害が起きたときに近隣の方にどれだけ協力して頂けるか勤務している職員が不安なく非難できるか具体的に訓練を行います。	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。